

福島県 南相馬市 「介護老人保健施設 厚寿苑」竣工式開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第5次助成先の一つである福島県厚生農業協同組合連合会では、かねてより建設中の「介護老人保健施設 厚寿苑」の完成に伴い、竣工式を1月30日（木）午前11時30分より執り行います。

南相馬市は福島県浜通り地区の北東部に位置し、農業、水産業のみならず、「相馬野馬追」や日本有数のサーフスポットとして知られる豊かな観光資源に恵まれた地域です。しかし、東日本大震災による津波被害及び原発事故で、福島第一原子力発電所から30kmの範囲の一部地域が帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域に指定されており、指定外地域に位置する鹿島区は多くの被災者の避難地域となりました。そのため鹿島区の人口は高齢者を中心に震災前から約2,000名増加した一方、病院は16施設から9施設へ、老健施設も8施設から4施設へと減少し、相双地域全体の医療・介護環境が悪化、特に老健施設等の介護施設の大幅な不足が深刻な問題になっています。

そこで、鹿島厚生病院及び併設の「介護老人保健施設 厚寿苑」を運営する福島県厚生農業協同組合連合会は地域医療・介護サービスの充実、強化のため施設増床を計画。現在の58床から100床に、通所リハビリテーションの定員も1日20人から40人の2倍に施設を拡充することになりました。

ヤマト福祉財団では、平成24年4月に南相馬市及び相双地域の地域医療・介護サービスを地域復興の大きな礎と考え鹿島厚生病院併設の「介護老人保健施設 厚寿苑」の新設事業へ10億円の助成を決定しました。

平成25年1月31日に起工式が行われ、この度、竣工の運びとなりました。



(完成予想図)



(平成25年1月31日に行われた起工式)

福島県、東北の復興は途上にあります。震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

福島県厚生農業協同組合連合会 担当：青山 (024-554-3450)
公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺 (03-3248-0691)

「鹿島厚生病院併設介護老人保健施設 厚寿苑」新設工事竣工式

1. 日時 平成26年1月30日（木） 午前11時30分開始
2. 場所 「鹿島厚生病院併設介護老人保健施設 厚寿苑」
住所 福島県南相馬市鹿島区横手字八郎内3
3. 主な出席者（敬称略）
 - (1) 福島県厚生農業協同組合連合会 経営管理委員会会長 庄條 徳一
 - (2) 福島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 永瀬 隆雄
 - (3) 福島県保健福祉部長 菅野 裕之
 - (4) 南相馬市長 桜井 勝延
 - (5) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富慶二
 - (6) 早稲田大学商学大学院 教授 内田和成
4. 建物概要
鉄筋コンクリート造、地上3階建て
敷地面積 (2,992.27㎡)
延べ床面積 (3,657.57㎡)
収容人員 病床数100床、通所リハビリテーション 40名：2単位
施設概要
 - 3階 居室、食堂、浴室、カンファレンス室、テラス等
 - 2階 居室、食堂、浴室、カンファレンス室等
 - 1階 機能訓練コーナー、食堂、地域交流スペース、事務所等

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。平成24年6月30日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142億円3608万1360円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億8448万751円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。